

東京都看護人材実態調査（管理者編）

調査票記入に当たってのお願い

■本調査は、都内の看護職員及び看護補助者の地域別、施設種別、職種別の就業実態と看護教育に対するニーズを把握し、2025年に向けた東京都の看護施策を検討する上での重要な資料となります。本調査の趣旨をご理解頂き、是非ともご協力をお願いします。

■記入に当たっては、各質問の注意書き等を踏まえて、記入してください。

■記入方法等でご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

【調査委託会社】株式会社アストジェイ（担当者:向江 白石）

電話番号：03-6262-9713

ファクシミリ番号：03-6262-9712

電子メールアドレス：info_kango@astweb.co.jp

■ご記入いただいた調査票は、調査専用の返信用封筒に入れて、令和2年1月17日(金曜日)までに投函してください。（切手は不要です。）


■本調査のデータ及び結果については、東京都の看護人材確保対策以外に使用することはありません。調査票の情報管理は厳重に取り扱い、個人が特定されることはありません。ただし、統計的な取りまとめ結果については、公表することがあります。

○本調査は、看護職員（保健師、助産師、看護師、准看護師）及び看護補助者に関するものです。

○特に指定のない項目は令和元年12月1日現在で記入してください

○選択回答については、当てはまる数字を回答欄へ記入してください。

○質問の前に特段の断りがない場合は、すべての施設が回答の対象です。

調査実施機関： 東京都福祉保健局医療政策部医療人材課

【用語の説明】

この調査における用語等について説明します。

● 複数免許を有する場合は、担当している業務に最も関係する資格欄に記入してください。

例) 助産師と看護師の免許を所有し、主に看護業務を行っている場合 ⇒ 「看護師」欄に記入

● 雇用形態

・正規雇用：任期（定年を除く）の定めのない雇用で、育児・介護等による短時間正規雇用を含む。

・非正規雇用：パート、アルバイト、非常勤、派遣など任期（契約期間）の定めのある雇用

● 勤務形態

・常勤：雇用形態を問わず、施設で定められた勤務時間を全て勤務する者（＝フルタイム勤務者）

ただし、定められた1週間の勤務時間が32時間未満の者は非常勤とする。

・非常勤：施設と雇用関係にあつて上記の常勤でない職員（週2日5時間勤務、週5日3時間勤務など）

● 看護補助者

下記に準じて、看護師の指示のもと業務を行って看護補助業務を行っている者を計上してください。

【医科の診療報酬の施設基準における看護補助者】

看護師長及び看護職員の指導の下に、原則として療養生活上の世話（食事、清潔、排泄、入浴、移動等）のほか、病室内の環境整備、ベッドメイキング、看護用品及び消耗品の整理整頓等の業務を行っている者。他の資格を有している者で看護補助業務を行っている者も含む。

【介護報酬・診療報酬の訪問看護療養費における看護補助者】

訪問看護を担当する看護師の指導の下に、療養生活上の世話（食事、清潔、排泄、入浴、移動等）のほか、居室内の環境整備、看護用品及び消耗品の整理整頓等といった看護業務の補助を行う者。資格は問わない。秘密保持や医療安全等の観点から、当該訪問看護ステーションに雇用されている必要がある。

I 基本情報（「施設の基本情報」についてお聞きします）

問1 貴施設の正式名称を記入してください。

（例）医療法人社団〇〇病院 〇〇クリニック 〇〇訪問看護ステーション

問2 住所を記入してください。（区市町村名から）

問3 貴施設の施設種別（機能）を1つ選択してください。

- | | |
|-------------|-------------------------|
| ① 病院（急性期中心） | ⑨ 訪問看護ステーション |
| ② 病院（回復期中心） | ⑩ 介護老人保健施設 |
| ③ 病院（慢性期中心） | ⑪ 介護医療院 |
| ④ 精神科病院 | ⑫ 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） |
| ⑤ ①～④以外の病院 | ⑬ 有料老人ホーム等特定施設入居者生活介護施設 |
| ⑥ 有床診療所 | ⑭ 居宅サービス事業所（⑨、⑬以外） |
| ⑦ 無床診療所 | ⑮ 看護小規模多機能型居宅介護事業所 |
| ⑧ 助産所 | |

回答

【問3で施設種別が「①～⑤病院」「⑥有床診療所」の場合にお答えください。】

問4 令和元年12月1日現在の病床種別ごとの許可病床数を記入してください。

※療養病床、精神病床に指定介護療養型医療施設がある場合には、その病床数を内数で記入してください。

病床数 (床)	一般病床	療養病床		精神病床		結核病床	感染症病床	合計	
		指定介護療養型医療施設 (内数)	指定介護療養型医療施設 (内数)	指定介護療養型医療施設 (内数)	指定介護療養型医療施設 (内数)				

【問3で施設種別が「①～⑤病院」「⑥有床診療所」「⑦無床診療所」の場合にお答えください。】

問5 令和元年11月における1日平均外来患者数を記入してください。

※「令和元年11月」は、令和元年11月1日から令和元年11月30日までのことをいいます。

外来者数 人

【問3で施設種別が「⑨訪問看護ステーション」の場合にお答えください。】

問6 令和元年11月における訪問看護の利用実員数及び訪問回数の合計を記入してください。

※「令和元年11月」は、令和元年11月1日から令和元年11月30日までのことをいいます。

利用実員数	人
訪問回数	回
うち、理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士による訪問回数	回

【問3で施設種別が「⑧助産所」で入所施設がある場合、「⑩介護老人保健施設」「⑪介護医療院」「⑫介護老人福祉施設」「⑬有料老人ホーム等特定施設入居者生活介護施設」の場合にお答えください。】

問7 令和元年12月1日現在の入所者数及び施設入所定員を記入して下さい。

入所者数	<input type="text"/>	人
施設入所定員	<input type="text"/>	人

【問3で施設種別が「⑧助産所」「⑩介護老人保健施設」「⑫介護老人福祉施設」で通所サービスを併設している場合、及び「⑭居宅サービス事業所」「⑮看護小規模多機能型居宅介護事業所」の場合にお答えください。】

問8 令和元年11月における1日の平均利用者数は何人ですか。

また、⑭、⑮の施設の場合、看護職員の配置に関し、施設を併設しているか、または病院等協定を結んでいるかお答えください。

※「令和元年11月」は、令和元年11月1日から令和元年11月30日までのことをいいます。

利用者数		人
------	--	---

(併設又は協定施設に○を付けてください。)

- ①併設 →
- ②協定を締結 →
- ③併設・協定なし

病院・診療所・訪問看護ステーション

問9 貴施設に看護職員（管理者を含む）又は看護補助者は従事していますか。

※看護補助者について調査票冒頭の「用語の説明」を御確認下さい。

- ① 従事している。 → 問10以降へお進みください。
- ② 従事していないが、昨年まで従事していた。 → 問13以降へお進みください。
- ③ 従事していないが、今後、採用予定である。 → 問15以降へお進みください。
- ④ 従事していない。今後、採用予定もない。 → 回答終了

以上で調査は終了です。 調査票をこのまま返送してください。 ご協力ありがとうございました。

Ⅱ 就業状況等についてお聞きします

問 10 令和元年 12 月 1 日現在、在籍している看護職員（休業休職者を含む）について、雇用形態ごとに勤務形態別、職種別の職員数を記入してください。

【注釈】 ※正規雇用、常勤等の用語について1頁目の【用語の説明】をお読みください。

● 所定労働時間について

表中①所定労働時間：施設で定めている常勤職員一人当たりの1週間の所定労働時間（記入例）40 時間

表中④所定労働延時間：各短時間正規雇用職員の1週間の所定労働時間の合計

（記入例）30 時間勤務の人が 10 人の場合 $30 \text{ 時間} \times 10 \text{ 人} = 300 \text{ 時間}$

表中⑨所定労働延時間：各非常勤職員の1週間の所定労働時間の合計

（記入例）16 時間勤務の人が 45 人、22 時間勤務の人が 5 人の場合 $16 \text{ 時間} \times 45 \text{ 人} + 22 \text{ 時間} \times 5 \text{ 人} = 830 \text{ 時間}$

● 常勤換算について

・フルタイム職員の常勤換算数 = 実員数

・短時間正規雇用職員の常勤換算数 $\text{④} \div \text{①}$ （記入例） $300 \div 40 \text{ (時間)} = 7.5 \text{ 人}$ （小数点以下第2位を四捨五入）

・非常勤職員の常勤換算数 $\text{⑨} \div \text{①}$ （記入例） $830 \div 40 \text{ (時間)} = 20.8$ （小数点以下第2位を四捨五入）

・就業者合計(常勤換算数) $\text{⑥} \text{ (正規雇用)} + \text{⑪} \text{ (非正規雇用)}$ （記入例） $15.5 \text{ 人} + 22.8 \text{ 人} = 38.3 \text{ 人}$

（単位：人）

	①所定労働時間 (1週当たり)	正規雇用				⑥合計 (常勤換算数) ②+⑤
		常勤(フルタイム)	短時間正規雇用		⑤常勤換算数 ④÷①	
		②実員数	③実員数	④所定労働延時間		
(記入例)	40時間	8人	10人	300時間	7.5人	15.5人
保健師	時間	人	人	時間	人	人
助産師		人	人	時間	人	人
看護師		人	人	時間	人	人
准看護師		人	人	時間	人	人
合計		人	人		人	人

	①所定労働時間 (1週当たり)	非正規雇用				⑪合計 (常勤換算数) ⑦+⑩
		常勤(フルタイム)	非常勤		⑩常勤換算数 ⑨÷①	
		⑦実員数 = 常勤換算数	⑧実員数	⑨所定労働延時間		
(記入例)	40時間	2人	50人	830時間	20.8人	22.8人
保健師	時間		人	時間	人	人
助産師			人	時間	人	人
看護師			人	時間	人	人
准看護師			人	時間	人	人
合計			人		人	人

	就業者合計	
	⑫実員数 ②+③+⑦+⑧	⑬常勤換算数 ⑥+⑪
		70人
保健師	人	人
助産師	人	人
看護師	人	人
准看護師	人	人
合計	人	人

問 11 令和元年 12 月 1 日現在、在籍している看護職員数（休業退職者を含む）について、勤務形態別・年齢区分別ごとに記入してください。雇用形態は問いません。

（単位：人）

	～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合計
常勤 (フルタイム)													
非常勤													

※合計は、問 10 の就業者合計（常勤及び非常勤）の⑫実人員数の計と一致します。

問 12 令和元年 12 月 1 日現在、在籍している外国人職員について勤務形態別にお答えください。

	常勤(フルタイム)	非常勤
外国人看護職員	人	人
外国人看護師候補生(EPA)	人	人

問 13 6 年後の令和 7（2025）年 12 月 1 日現在の看護職員数は令和元年 12 月 1 日現在の実人数と比べてどうなる見込みですか。

- ① 増えている → 問 13-1 へ
- ② 減っている → 問 13-1 へ
- ③ 変わらない → 問 14 へ
- ④ わからない → 問 14 へ

回 答

問 13-1 令和 7 年までの需要人員の主たる増減理由を 1 つ選択してください。

※⑦の場合はシフト先を、⑧その他の場合は理由を（ ）に記入してください。

- ① 施設基準（看護職員基準）の変更
- ② 病床数・定員数等の変更
- ③ 新たなサービスの展開、サービスの強化・充実
- ④ サービスの見直し、縮小・廃止
- ⑤ 勤務環境（ライフワークバランスに関する制度）の充実、見直し
- ⑥ 患者や利用者の実態に応じた職員の増減
- ⑦ タスクシフトの推進による ⇒ シフト先（ ）
- ⑧ その他（具体的に： ）

回 答

問 16-2 平成 30 年度中の経験者採用者の未就業期間について、期間別に人数を記入してください。転職者（前職場を辞める前に就職が内定していた者）についてわかる範囲で人数を記入してください。

(単位:人)

未就業期間	経験者採用者数	(内訳)転職者
0~1か月未満	人	人
1か月以上~1年未満	人	人
1~2年未満	人	
2~3年未満	人	
3~5年未満	人	
5年以上	人	
不明	人	

問 17 看護職員採用の考え方として、次の項目（1）から（3）の各対象者の中で採用したい優先順位を付けてください。

※「新卒者」とは、免許取得後1年未満の者をいいます。

(1)

項目	順位
① 新卒者（社会人経験あり）	
② 新卒者（社会人経験なし）	
③ 看護職経験者（育児・介護中の転職者で短時間勤務希望）	
④ 看護職経験者（ブランクのある再就業者でフルタイム希望）	
⑤ 定年退職後の再就業者（フルタイム希望者）	
⑥ 定年退職後の再就業者（短時間勤務希望者）	

(2)

項目	順位
① 看護職経験者（ラダーⅠ～Ⅱ）	
② 看護職経験者（ラダーⅢ以上）	
③ 認定看護師・専門看護師・アドバンス助産師	
④ 特定行為研修修了者	

(※ラダーレベルは JNA ラダーを参照してください。)

(3)

項目	順位
① 看護系大学院卒業	
② 看護系大学卒業	
③ 看護師等養成所卒業	
④ 准看護師等養成所・高等学校卒業	
⑤ 学歴、卒業施設による区別なし	

※①～③は、いずれも看護師免許を所持している職員として考えてください。

問 18-2 転職者・再就業者の採用・確保について、効果をあげていると感じる取組すべてについて回答欄に○を付けてください。

選 択 項 目	回 答
① ナースバンク（無料職業紹介所）の利用	
② ハローワーク（職業安定所）の利用	
③ 有料職業紹介事業者の利用	
④ 新聞の折り込み広告	
⑤ 駅などでの求人広告の掲示	
⑥ 就職相談会への参加	
⑦ ホームページ・SNS の活用	
⑧ 自施設の退職者を勧誘	
⑨ 看護職員の口コミ	
⑩ いつでも見学、相談ができるようにしている	
⑪ 東京都ナースプラザの「復職支援研修」への協力	
⑫ 教育機関・養成所からの紹介	
⑬ 入職後の研修フォロー体制	
⑭ 専門資格取得等キャリアアップの機会・支援	
⑮ ライフステージに応じた多様な勤務形態の導入	
⑯ 休暇・福利厚生制度の充実	
⑰ 寮・借り上げ住宅の提供	
⑱ 育児・介護への支援体制	
⑲ 院内保育所の整備	
⑳ その他（具体的に： _____）	

問 19 平成 29 年度～令和元年度（4 月～9 月末）の募集ツールの利用及び採用状況と令和元年 12 月 1 日現在の在籍状況についてお答えください。

（単位：人）

	利用の有無	勤務形態	平成29年度		平成30年度		令和元年度(4月～9月末)	
			採用人数	うち令和元年12月1日現在 在籍者数	採用人数	うち令和元年12月1日現在 在籍者数	採用人数	うち令和元年12月1日現在 在籍者数
無料職業紹介 (ナースバンク)	① 有	常勤						
	② 無	非常勤						
無料職業紹介 (ハローワーク)	① 有	常勤						
	② 無	非常勤						
有料職業紹介	① 有	常勤						
	② 無	非常勤						

問 19 で【有料職業紹介事業者を利用している場合にお答えください。】

問 19-1 有料職業紹介事業者を利用する理由として当てはまるものすべてについて回答欄に○をつけてください。

選 択 項 目	回 答
① 人材確保が困難なためやむを得ず	
② 対応が丁寧	
③ 安心できる	
④ すぐに求職者が紹介される	
⑤ 適任者が紹介される	
⑥ 採用までの施設側の手間が少ない	
⑦ 採用後の紹介者へのフォローが手厚い	
⑧ その他（具体的に： _____）	

問 19-2 事業者への年間支払金額の総額は、おおよそどれくらいですか。（平成 30 年度）

円

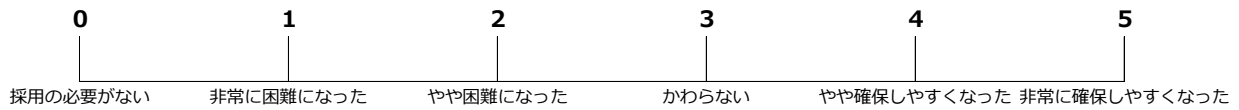
問 19 で【ナースバンクを利用していない場合にお答えください。】

問 19-3 無料のナースバンクを利用しない理由として当てはまるものすべてについて回答欄に○をつけてください。

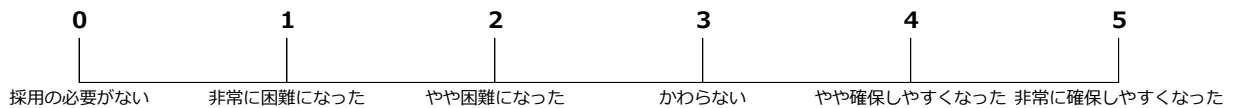
選 択 項 目	回 答
① 求人登録が複雑	
② 採用までの施設側の手間が多い	
③ 登録しても求職者が紹介されない	
④ 適任者が紹介されない	
⑤ 採用後の紹介者へのフォローがない	
⑥ 所在地が不便（西新宿、立川）	
⑦ ナースバンクをよく知らない	
⑧ その他（具体的に： _____）	

問 20 職員の確保について1年前と比較してどう感じているかを5段階評価でお答えください。
あてはまる回答の数値に○をつけてください。

① 看護職員



② 看護職員のうち夜勤可能な職員



問 21 正規雇用看護職員(常勤)の退職について、定年を定めていますか。
定めている場合は、年齢を記入してください。

① 定年を定めている 歳 (→問 21-1へ)

② 定年を定めていない (→問 22へ)

回 答

【問 21 で「①定年を定めている」と回答した方はお答えください。】

問 21-1 定年退職者を改めて雇用する制度はありますか。ある場合は、就業できる上限年齢を記入してください。

① ある 歳 (→問 21-2へ)

② ない (→問 22へ)

回 答

【問 21-1 で「①ある(定年退職者を雇用する制度が)」と回答した方は問 21-2～問 21-7にお答えください。】

問 21-2 定年前と比較して定年退職後の給与に差がありますか。

① 定年前と同等

② 定年前より減額 ⇒ 割減

回 答

IV 定着について

現在の職員の勤務状況についてお聞きします

問 22 看護職員の勤務形態についてお答えください。

- ・雇用形態別に当てはまる勤務形態すべてに○をつけてください。
- ・夜間勤務の必要がない施設は夜勤専従欄に×をつけてください。

(単位 人)

勤務形態	看護職員	
	正規雇用	非正規雇用
① フルタイム勤務		
② 短時間勤務(1日の所定労働時間を5時間45分～6時間)		
③ フレックスタイム制度		
④ 早出・遅出勤務		
⑤ 夜勤専従		

問 23 就業規則で定められた正規看護職員(常勤)の所定の年次有給休暇の日数と平成30年度の取得率について記入してください。

① 所定有給休暇日数(年間) 日

② 平成30年度取得率 %

※取得率=取得日数/各人の付与日数(前年度からの繰越分を含まない)×100

問 24 正規看護職員(常勤)の超過勤務時間について、1人あたりの平成30年度の月平均時間をご記入ください。どなたも超過勤務をされなかった場合は「0」をご記入ください

月平均 1人あたり 時間(小数点第1位まで)

定着対策についてお聞きします

問 25 看護職員の定着のための取組みについてお答えください。

- (1) 選択項目の中で貴施設で実施している取組みについて、当てはまるものすべてに○をつけてください。
- (2) (1)で選んだ取組の中で効果を上げているものを3つまで選択してください。
- (3) 選択項目の中で今後実施したい、又はさらに重点的に取組みたいものを3つまで選び、番号を記入してください。

選 択 項 目	(1) 実施して いるもの (すべて)	(2) 効果を上げ ているもの (3つまで)	(3) 今後又は さらに実施 したいもの (3つまで)
① 面談や定期ミーティングの開催			
② 研修等教育機会の充実			
③ キャリアアップの支援			
④ 良好な人間関係、職場づくりの推進			
⑤ 理念を共有した看護の実践への取組み			
⑥ 給与、各種手当等の充実			
⑦ 福利厚生 of 充実			
⑧ 多様な勤務形態の導入			
⑨ 休暇の取得促進			
⑩ 電子カルテ等 ICT の活用による業務軽減			
⑪ 他専門職種との業務分担			
⑫ 看護補助者へのタスクシフティング			
⑬ 超勤を減らす取組み			
⑭ 夜勤の負担を減らす取組み			
⑮ 寮、借り上げ住宅の提供			
⑯ 育児・介護支援			
⑰ 休憩室・ナースステーション等の施設設備			
⑱ 専門家による職員のメンタルヘルスケア			
⑲ その他(具体的に)			

問 26 育児・介護中の看護職員の働きやすさ向上のために貴施設で実施している支援制度について支援についてお答えください。

(1) 選択項目の中で貴施設で実施している支援制度について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

(2) (1)で選んだ支援の中で効果を上げているものを3つまで選び、番号を記入してください。

(3) 選択項目の中で今後実施したい、又はさらに重点的に取り組みたいものを3つまで選び、番号を記入してください。

選 択 項 目	(1) 実施して いるもの (すべて)	(2) 効果を上げ ているもの (3つまで)	(3) 今後又は さらに実施 したいもの (3つまで)
① 育児に伴う短時間勤務制度			
② 育児に伴う夜勤免除制度			
③ 院内保育（昼間）			
④ 院内保育（夜間）			
⑤ 病児・病後児保育			
⑥ 保育サービス利用料の補助			
⑦ 育児休職あけの復職時研修の実施			
⑧ 介護に伴う短時間勤務制度			
⑨ 介護に伴う夜勤免除制度			
⑩ 介護サービス利用料の補助			
⑪ フレックスタイム制			
⑫ 半日、時間単位の休暇制度			
⑬ 家族で入居可能な住宅の提供			
⑭ その他（具体的に)			

問 27 夜勤の看護職員の業務負担軽減のための取組についてお答えください。

(1) 選択項目の中で貴施設で実施している取組についてあてはまるものすべてに○をつけてください。

(2) (1)で選んだ取組の中で効果を上げているものを3つまで選択してください。

(3) 選択項目の中で今後実施したい、又はさらに重点的に取り組みたいものを3つまで選び、番号を記入してください。

選 択 項 目	(1) 実施して いるもの (すべて)	(2) 効果を上げ ているもの (3つまで)	(3) 今後又は さらに実施 したいもの (3つまで)
① 看護補助者の増員			
② 早出や遅出の看護補助者の配置			
③ 夜勤時間帯の看護補助者の配置			
④ 夜勤時間帯の病棟クランクの配置			
⑤ 夜勤時間帯の他医療専門職種との業務分担			
⑥ 看護職員の増員			
⑦ 短時間勤務の看護職員の増員			
⑧ 夜勤専従者の雇用			
⑨ 夜勤時間帯の看護職員配置の増員			
⑩ 月の夜勤回数の上限の設定			
⑪ 夜勤後の「暦日の休日」(※)の確保 ※0時から始まる24時間を1日と考えての休日			
⑫ 夜勤の連続回数が2連続(2回まで)の設定			
⑬ 11時間以上の勤務間隔の確保			
⑭ 電子カルテ活用等ICTの推進			
⑮ 仮眠室、シャワー室等完備			
⑯ 寮、借り上げ住宅の提供			
⑰ その他(具体的に：)			

「人材育成」についてお聞きします

問 28 貴施設の研修・教育体制、進学の支援体制について当てはまるものすべてを選択し○をつけてください。

選 択 項 目	回 答
① 施設内に看護職員の教育・研修を専門に担当する部署がある。または教育・研修専従の担当者がある。	
② 施設内各部署の教育担当者によって構成される教育委員会が設置されている。	
③ キャリアラダー等を導入し、これに基づき研修計画を作成している。	
④ 施設内・施設外ともに研修計画を作成し、実施又は派遣している。	(問28-1へ)
⑤ 施設内のみ研修計画を作成し、実施している。	(問28-1へ)
⑥ 施設外の派遣研修計画のみ作成し、派遣している。	(問28-2へ)
⑦ 施設内研修の実施、派遣も行っていない。	(問28-3へ)
⑧ 准看護師に対する看護師資格取得の支援がある。	
⑨ 看護職員が大学院等に進学するための支援体制がある。	

※施設内研修には法人内合同研修も含まれます。また、OJT研修は含みません。

問 28 で④⑤「施設内・施設外ともにまたは施設内のみ施設の研修計画を作成している。」を選択した施設にお聞きします。

問 28-1 (1) 自施設又はグループ内で実施している研修をすべて選択し、○をつけてください。また、今後、新たに実施したい研修をすべて選択し、○をつけてください。

研修項目	実施している	今後実施したい
① 新人看護職員研修		
② 2・3年目看護職員研修		
③ 経験者看護職員の入職時研修		
④ 中堅看護職員研修		
⑤ ベテラン看護職員研修		
⑥ その他 (具体的に:)		

問 28-1 (2) 現在、施設外に派遣している研修、または、今後派遣させたい研修をすべて選択し、○をつけてください。

研修項目	派遣している	今後派遣したい
① 新人看護職員研修		
② 2・3年目看護職員研修		
③ 経験者看護職員の入職時研修		
④ 中堅看護職員研修		
⑤ ベテラン看護職員研修		
⑥ その他 (具体的に:)		

問 29 令和元年12月1日現在の専門看護師等の配置状況と令和7(2025)年度の配置計画をお答えください。

※配置している人がいない場合は0を記入してください。

(単位:人)

	令和元年 12月1日現在	令和7年(2025年) 12月1日
① 専門看護師		
② 認定看護師		
③ 認定看護管理者		
④ アドバンス助産師		

問 30 令和元年12月1日現在の貴施設の特定行為研修修了者数(実人数)とその区分(述べ人数)をお答えください。

※修了者や受講中の者がいない場合はゼロを記入してください。

(単位:実人数)

修了者	人
受講中の者	人

(単位:延べ人数)

特定行為区分の名称	修了者数 (現在受講中を含む)
① 呼吸器(気道確保に係るもの)	人
② 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)	人
③ 呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)	人
④ 循環器	人
⑤ 心嚢ドレーン管理	人
⑥ 胸腔ドレーン管理	人
⑦ 腹腔ドレーン管理	人
⑧ ろう孔管理	人
⑨ 栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)	人
⑩ 栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)	人
⑪ 創傷管理	人
⑫ 創部ドレーン管理	人
⑬ 動脈血液ガス分析	人
⑭ 透析管理	人
⑮ 栄養及び水分管理に係る薬剤投与	人
⑯ 感染に係る薬剤投与	人
⑰ 血糖コントロールに係る薬剤投与	人
⑱ 術後疼痛管理	人
⑲ 循環動態に係る薬剤投与	人
⑳ 精神及び神経症状に係る薬剤投与	人
㉑ 皮膚損傷に係る薬剤投与	人

問 30-1 特定行為研修修了者は貴施設で特定行為を実施していますか。

①はい ⇒ 実施している人数(実人数)を記入してください。 人

②いいえ ⇒ 実施していない理由をご記入ください。

回答

問 31 2020 年 4 月から新たに特定行為のパッケージ研修（外科術後管理領域、術中麻酔管理領域、在宅・慢性領域、救急領域）が開始されます。区分別特定行為研修、パッケージ化特定行為研修を受講させる予定はありますか。

- ① 区分別特定行為研修を受講させる
 ② パッケージ化特定行為研修を受講させる
 ③ 区分別とパッケージ化の両方の特定行為研修を受講させる
 ④ どちらも受講させる予定はない
- (→問 31-1 へ)
 (→問 31-3 へ)

回 答

問 31-1 問 31 で①～③(受講させる)を選択された場合、下記に予定と分野をお答えください。

	2025年までの 修了予定者数※	区分又は領域	回 答(複数可)
(1) 区分別特定行為研修	人	問30の区分名称の番号を 回答欄に記入してください。	
(2) パッケージ化特定行為研修	人	① 外科術後管理領域 ② 術中麻酔管理領域、 ③ 在宅・慢性領域 ④ 救急領域 から選択してください。	

※今年度までの修了者及び修了予定者を含む。

問 31-2 問 31 で受講させる予定がある場合、受講への支援体制について、それぞれ当てはまるものを選択してください。

(1) 研修費用負担

- ① 全額施設負担 ② 一部施設負担 ③ 本人負担

回 答

(2) 勤務要件

- ① 勤務しながら受講
 ② 受講中は休職扱い（有給）
 ③ 受講中は休職扱い（無給）

回 答

(3) 代替要員

- ① 自施設の職員で対応 ② 代替職員を別に雇用

回 答

問 31-3 問 31 で受講させる予定がない場合、その理由についてもっとも当てはまるものを選択してください。

- ① 必要がない
- ② 組織でまだ検討していない
- ③ 研修受講の際の人的確保ができない
- ④ 研修費用の負担ができない
- ⑤ 受講希望者がいない
- ⑥ その他
(具体的に：)

回 答

V 届出制度・都の支援について

問 32 平成 27 年 10 月から、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」により、看護師等免許保持者は、離職した場合などに住所、氏名等の届け出をすることになりました。

貴施設の退職する職員に対して「東京都ナースプラザ」に届け出るよう周知していますか。

- ① している
- ② していない

回 答

問 32-1 代行制度による届出を行っていますか。もっとも当てはまるものを選択してください。

- ① 積極的に行っている
- ② あまり積極的におこなっていない
- ③ 知っているが全く行っていない
- ④ 知らなかった
- ⑤ その他 ()

回 答

問 32-2 東京都ナースプラザでは、看護職の無料職業紹介所であるナースバンクを設置し、看護職に対する復職に向けた研修、就業相談・あっせん等を行い、再就業を支援しています。貴施設の退職する職員に対して、ナースバンクの情報を提供していますか。

- ① 情報を提供している
- ② 情報を提供していない

回 答

VI 看護補助者を雇用されている施設にお聞きします

問 34 令和元年 12 月 1 日現在、在籍している看護補助者（休業退職者を含む）について、勤務形態別の実人数、常勤換算数、年齢区分別人数を記入してください。

(単位：人)

	実人員					常勤換算数
	常勤		非常勤			
看護補助者	うち、外国人	うち、看護学生				
			うち、外国人	うち、看護学生		

※常勤換算については、問 10 の注釈を参考にしてください。

(単位：人)

	～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合計
常勤													
非常勤													

問 34-1 貴施設で実施している看護補助者の勤務形態について当てはまるものすべてに○をつけてください。

※夜間勤務の必要がない施設は夜勤専従欄に×をつけてください。

勤務形態	看護補助者		
	正規雇用	非正規雇用	
		うち派遣	
① フルタイム勤務			
② 短時間勤務(1日の所定労働時間を5時間45分～6時間)			
③ フレックスタイム制度			
④ 早出・遅出勤務			
⑤ 夜勤専従			

問 34-2 看護補助者の主な配属先について実人数及び常勤換算数を記入してください。

※常勤換算については、問 10 の注釈を参考にしてください。

主な配置部署	実人数	常勤換算数
① 病棟(看護補助加算、急性期看護補助体制、看護補助者配置加算対象)	人	人
② 病棟(看護補助加算等無し)	人	人
③ 外来部門	人	人
④ 検査部門	人	人
⑤ 中央材料室	人	人
⑥ 手術室	人	人
⑦ ICU・CCU・SCU・NICU	人	人
⑧ その他の部署(具体的に:)	人	人
⑨ 主な配属を定めていない	人	人
訪問看護ステーション	⑩ 複数名訪問看護加算に利用	人

問 36-2 看護補助者の採用に際し、利用しているもの全てに○をつけてください。

選 択 項 目	回 答
① ホームページ、口コミ等による自己採用	
② 無料のハローワーク（職業安定所）	
③ 有料職業紹介事業者	
④ 派遣会社	
⑤ その他（具体的に： _____）	

問 37 看護補助者の確保について1年前と比較してどう感じているかを5段階評価でお答えください。

1	2	3	4	5	回 答
非常に困難になった	やや困難になった	かわらない	やや確保しやすくなった	非常に確保しやすくなった	

問 38 看護補助者の研修について当てはまるもの（複数回答可）を選択してください。

- ① 自施設で研修計画をたて、看護補助者の経験段階に応じた研修を実施している。
- ② 自施設で定期的に年1回研修を実施している。
- ③ 自施設で採用時のみ研修を行っている。
- ④ 外部で実施している研修に派遣している。
- ⑤ 看護職員と一緒に実務をしながら業務を学ばせているが、研修は行っていない。派遣もしていない。（→問38-1へ）
- ⑥ その他（具体的に： _____）

回 答

問 38-1 問 38 で⑤「研修は行っていない。派遣もしていない。」を選択した施設にその理由について当てはまるものを3つまで選択してください。

選 択 項 目	回 答 (3つまで)
① 教育に携わる人材や人員が確保できないため	
② 研修を実施する設備や場所が確保できないため	
③ 業務多忙により研修時間の確保が困難なため	
④ 研修内容の企画が困難なため	
⑤ 予算確保が困難なため	
⑥ 必要性を感じないため	
⑦ 施設外で適当な研修が実施されていないため	
⑧ その他（具体的に： _____）	

最後にご意見等ございましたら、ご自由にご記入ください。

以上で調査は終了です。

ご協力いただき誠にありがとうございました。

※調査内容に齟齬等がある場合にお問合せさせていただくことがありますので、
差し支えなければご連絡先をご記入ください。

【ご担当者】 所属部署：

氏 名：

連 絡 先：